



料理昇降機 (鳥の劇場)

作：ハロルド・ピンター 演出：中島諒人

TALK 各回上演後に演出家によるアフタートークがあります

9月27日(土)・28日(日) 14:00

スタジオ 料金：大人=2,500円 中高生=1,000円 小学生=無料

暗いじめじめした地下室。二人の殺し屋が、昨夜あたりから指令を待っている。二人の仕事は、この部屋に送り込まれる標的を銃で殺すことだ。指令はなかなか来ない。二人はいらだちながら、とりとめない会話で時を過ごす。突然、指令が届く。けれどそれは料理の注文だった。部屋には小さなエレベータ(料理昇降機)があり、指令はそこから来た。

資本主義経済の発達、戦争、工業化、情報化。人間を取り巻く環境はこの100年あまりの間に、大きな変化を強いられました。より大きな欲望と腕力と狡猾さを持ったものが広い場所を占め、そうでないものは自分の場を奪われる。人間集団は古くから大なり小なりそういうものだったのですが、この100年ほどは、その傾向が致命的に進みました。「格差」という言葉は、その一層の加速を思わせます。「料理昇降機」の二人の男(ベン、ガス)は、巨大な組織の一員として、殺し屋という汚れ仕事を担わされながら、自己の尊厳とか誇りを保とうと必死の努力をします。が、システムの圧倒的な力は、彼らの思いなど意に介することはありません。50年前、27歳のイギリスの若者が見通した世界のありようが現在も有効で、21世紀を予見していたかのようであることに、書く才能の不思議さとおそろしさを感じています。(中島諒人)

出演：齊藤頼陽 西堀 慶 舞台美術：中島諒人 照明：齋藤 啓 音響：村上裕二 制作：鳥の劇場